

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	道路維持補修費				
担 当 課 係 名	田沢湖総合窓口 課	振興班 係	作成者	伊藤 聡	
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち			総合計画の ページ
	基本計画	国道や県道、生活道路の整備			
	主要施策	市道の整備			31
予 算 費 目	一般 会計	8 款 土木費	2 項 道路橋りょう費	2 目 道路維持費	
事 業 期 間	平成 18 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	住民、本市を訪れる観光客の安全を確保するための道路維持補修
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	快適な歩行、運転を行うための適切な道路管理
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	道路補修、パトロールによる安全確保

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	維持補修 実施箇所 / 対象（見込）箇所	目標	%	100.0	100.0	100.0	
			実績	%	70.0	70.0	70.0	
			達成度	%	70.0%	70.0%	70.0%	
	成果指標	維持補修要望処理率	目標	%	100.0	100.0	100.0	
			実績	%	80.0	80.0	80.0	
			達成度	%	80.0%	80.0%	80.0%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				6,229	6,528	8,003	
	人 件 費 (B)		—		31,412	40,355	31,700	
	職 員 数		—		4.00	5.00	4.00	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				37,641	46,883	39,703	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				37,641	46,883	39,703
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		537,729	669,757	567,186	
	市民1人当たりのコスト(円)		—		1,180	1,491	1,279	

【事務事業の今までの成果】

道路パトロール等を通じ道路の安全確保を図り、不良箇所の維持補修に努める

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	維持補修についての経費については、どうしても削減の傾向にある
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	全ての維持補修要望に応えられずにいる現状から、市民から各種要望が寄せられている。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
C 2	A 現状のまま継続（実施）	直営と業者委託の見直しが必要と考えた
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）
地域センターと本課との業務分担を見直し、適切かつ迅速な対応が求められていることへの改善を検討。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
C 2	地区ごとに担当窓口が異なり効率的な業務遂行を妨げているため、一本化等改善に向けた検討が必要と考えます。

